

第74回西日本泌尿器科学会総会 ダイバーシティ推進委員会企画プログラム  
＜指導医教育コース＞

令和4年度「医学生・研修医等をサポートするための会」日本医師会共催

日時：令和4年11月4日（金） 14：35 - 15：45

会場：第2会場「北九州国際会議場2階 国際会議室」

テーマ「目前に迫った医師の働き方改革 2024～丸っと解決！自己研鑽～」

座長：藤本 直浩（産業医科大学）

山本 恭代（徳島大学）

基調講演Ⅰ：

「医師の平行キャリア：専門職から変革型リーダーへの発達的変容」

渡邊 豊彦（岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域）

泌尿器科医としてのキャリアに加え、経営学博士でもある渡邊先生から、自己研鑽の一つとして、医師がキャリアの節目を乗り越えるためには、アイデンティティの変容が必要であり、そのことによりリーダーシップ機能を高め、変革型リーダーへなることができるというご講演をいただいた。

基調講演Ⅱ：

「働き方改革における“自己研鑽とキャリアアップ”」

野口 満（佐賀大学泌尿器科）

2024年から開始となる実際の「医師の働き方改革の内容」について解説があり、自大学での遠隔診療や自己研鑽を充実させるための取り組みをお示しいただいた。

「Sustainable Development in JUA 2022からの提言

～SDGsな働き方改革を推進するキーワード「ダイバーシティ」～」

川崎 麻己（佐賀大学泌尿器科）

8月に開催されたSD in JUA2022に向けて、日本全国の大学病院、泌尿器科教室を対象に行ったアンケート調査結果の解析が報告された。持続可能なダイバーシティ推進には、アンコンシャスバイアスをなくし、各医局においてのボトムアップと学会からのトップダウンによる取り組みが必要である、との発表があった。

## パネルディスカッション

渡邊 豊彦（岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域）

野口 満（佐賀大学泌尿器科）

小林 知子（岡山大学泌尿器科）

川崎 麻己（佐賀大学泌尿器科）

塩崎 啓登（徳島県立中央病院泌尿器科）

木室 里依子（産業医科大学泌尿器科）

管理者から中堅、若手など多様性のあるパネリストにより、それぞれの立場から医師としてキャリア形成のために自己研鑽をどう考えているか、意見が述べられた。

会場内からも、北欧での医師の働き方や自施設での働き方改革に向けた取り組みについての発言があった。また、変革型リーダーになるための資質についての質問があり、活発なプログラムとなった。

本プログラムは、「令和4年度医学生・研修医等をサポートするための会」として日本医師会との共催となった。

プログラム参加者数 : 98名

## 写真



前列左から、木室里依子先生、小林知子先生、山本恭代先生、川崎麻己先生  
後列左から、藤本直浩会長、渡邊豊彦先生、野口満先生、塩崎啓登先生